

## ビジネスにおける競争という真実と企業の理想像の模索

黒田インターナショナル

黒田 毅

競争は利益の追求を根本的な要求として企業が与えられる。これは生き残り競争という絶対的な現実がビジネス環境を転換したことによるのである。

これらは近年における新しい技術基準における市場環境が、ビジネス基準と企業環境へ大幅な変化を与えているのである。

わかりやすく言えば、ビジネスはその戦国における戦いと同じである。

しかし企業はその企業の理念と理想において、自己構築を提案できるのである。これらは競争という現実でなく、自己理念と理想における企業構築における現実である。

これは市場環境に左右されない企業活動の構築という現実なのである。これらは企業が企業使命、社会の進歩と発展への寄与という原則において自己を行うことである。他方においては利益の追求という現実が存在するのである。

これらは異なる企業環境を創造する。競争と闘いという企業環境と、自己進歩に対する努力という企業環境である。

これらは西洋における企業の社会責任という新しい現実への理解を求められる。

利益の追求という企業体質に対して、社会的責任と自己という現実は存在するのである。

自由経済システムへの考察は、全ての自由な企業活動の許容における企業への多様な評価が存在するのである。ここに、新しいトレンドが存在し、優れた技術と製品が存在する。

これらは西洋における倫理的基準が、世界を牽引していることを如実に表すのである。